

## 2-4 交 流 事 業

「日本との交流事業」と言えば、毎年派遣される県費留学、技術研修員制度と思われがちだが、その他にも様々な取り組みが行われている。このような事業は日本からの理解も厚く、ブラジルから一方的に派遣するのではなく、日本から農業実習高校生を受入れるなど、相互にメリットがある交流事業が盛んになってきている。また、ブラジル、日本とで「姉妹都市提携(18ページ参照)」を結んでいる地域は、交流の一環として研修生派遣を実施している。

### 青 少 年 交 流 事 業 ( 順 不 同 )

都道府県人会名	プログラム名	内容
群馬	ジュニアリーダー交流	高校生の相互の交流。ブラジルからは、日系人の多い太田市を視察も含む
福島	高校生短期研修制度	中南米から2、3名を日本へ派遣し、約10日間ホームステイなどを通じて文化体験をする。
広島	在外県人会子弟交流	世界中に散らばる県人子弟を日本に集めて交流
兵庫	農業高校生受入事業	日本から15名ほど高校生を受け入れる
茨城	リーダー交流事業	県人会より次世代のリーダーを日本へ送る
石川	短期日本語研修	ブラジル、アルゼンチンから日本語を勉強したい学生を派遣する
新潟	新潟ブラジル農業青年交流事業	1年ごとに、受入側を交代し、農業に従事する青年を相互に研修させる。
宮崎	農業研修生交流	農業実習を約2か月間、隔年で相互に派遣
沖縄	ジュニアスタディーツアー	約2週間に渡り、世界に散らばる県人子弟高校生50人ほどが日本にホームステイしながら、異文化体験をする
佐賀	国際青年交流事業	隔年で相互に交流生を派遣。約2週間ホームステイを通じて異文化体験をする。
島根	交流員派遣	相互に2名ずつブラジル、日本に派遣する。高校生や大学生が対象で、ホームステイを通じて異文化体験する
栃木	短期研修	県人子弟の高校生を対象に、約2週間の研修をする
鳥取	中堅リーダー交流	日本とブラジルで相互に派遣。2~4名が隔年で交換
〃	少年少女交流派遣事業	少年少女に若いうちに、日本を知ってもらおう。不定期で派遣する。
〃	日本語教師派遣	鳥取県より第2アリアンサ鳥取村へ日本語教師を派遣してもらい、日本語の継承をはかる
山形	国境を越えて武者修行	1年ごとに相互に20代の青年を派遣し合う。
〃	有識者母県訪問団	将来、県人会を担っていくであろう中年層を日本に派遣し、研修してする。